

厚生労働科学研究費（障害者政策総合研究事業）
分担研究報告書

「新型コロナウイルス感染に起因すると考えられる精神症状に関する疫学的検討と支援策の検討
に資する研究」

新型コロナウイルス感染罹患後の精神症状の発現率の調査や新型コロナウイルス感染罹患後の精神症状を有する者に対する支援体制の研究に資する精神医学的・疫学的助言

分担研究者 久我 弘典（国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センター センター長）

研究要旨

本研究の目的は、COVID-19 の罹患者に出現した精神症状に対して支援に結びつけるためのガイドラインの作成への提言を行うことである。本分担課題においては、医療レセプトデータを用いた国内における COVID-19 罹患に起因すると考えられる精神疾患の有病率の調査を実施し支援体制を検討するにあたり、既出の研究を参考に精神医学的・疫学的助言を行った。レセプトデータにより算出された結果に対して、既出の研究を参照するために「COVID-19 感染後の精神症状を有する患者レジストリ」(PSCORE-J: Psychiatric Symptoms for COVID-19 Registry Japan) のデータを利活用した。本レジストリのデータを利活用した解析からは、新型コロナウイルス感染罹患後の精神症状として、抑うつ症状（重度 15%、中等度 40%、軽度 26%、軽度未満 19%）、不安症状（重度 7%、中等度 26%、軽度 38%、軽度未満 29%）、不眠症状（重度 4%、中等度 27%、軽度 46%、軽度未満 23%）などがあり、多くの罹患者が精神症状を有していた。医療レセプトデータと直接比較することは難しいものの、COVID-19 罹患後に多様な精神症状が持続的に出現するという点で、両者の所見は相補的な関係にあると考えられる。本研究は、今後の COVID-19 罹患後精神症状のマネジメントに対する診療ガイドライン策定やケア体制整備の基盤構築に資することが期待される。

A.研究目的

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は全世界を巻き込んで感染拡大が続き、現在もその影響は継続している。本邦においては、令和 5 年 5 月の 5 類感染症へと位置付けが変更された時点で、感染者数は 3,300 万人を超え、死亡者数も 7 万 4,000 人以上に達していた。その後も感染者数・死亡者数は増加を続けている（厚生労働省ホームページ）。

海外では COVID-19 罹患後の抑うつといった精神症状が報告され（Deng J. et al., 2020; Huang C. et al., 2021）米国の保険診療データベースを用いた過去起点コホート研究では、罹患

後に精神疾患のリスクが高いことが報告されている（Taquet M. et al., 2021; Taquet et al., 2021）。しかし、本邦では COVID-19 罹患後に生じた精神症状に対して大規模なデータを用いた調査の知見は非常に限られている。また、現在も対応法に難渋している COVID-19 罹患後症状に関しては、知見のさらなる集積が必要である。現在、厚生労働省から「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の手引き」の別冊として、「罹患後症状のマネジメント」が発行されている

（<https://www.mhlw.go.jp/content/000860932.pdf>）。その中でも、精神・神経症状に関して

は、さらなる情報集積の必要性が問われている。

本研究の目的は、COVID-19 の罹患者に出現した精神症状に対して支援に結びつけるためのガイドラインの作成への提言を行うことである。分担課題として、新型コロナウイルス感染罹患後の精神症状の発現率の調査や罹患後の精神症状を有する者に対する支援体制への疫学的小および政策的観点から助言を行う。

B.研究方法

本分担課題においては、医療レセプトデータを用いた国内における COVID-19 罹患に起因すると考えられる精神疾患の有病率の調査を実施し支援体制を検討するにあたり、既出の研究を参考に精神医学的・疫学的助言を行った。

医療レセプトデータに関しては、研究分担者の福田が実施している Longevity Improvement & Fair Evidence Study (以下、LIFE Study) のデータを用いた (LIFE Study の詳細は福田分担班を参照)。LIFE Study では、医療レセプトデータに加え、新型コロナウイルス感染症の感染者に関する情報が含まれる「新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム (HER-SYS)」も含めた。

また、参考にした既出の研究に関しては、AMED(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)研究成果物である「COVID-19 感染後の精神症状を有する患者レジストリ (PSCORE-J : Psychiatric Symptoms for COVID-19 Registry Japan)」(<https://pscore-j.ncnp.go.jp>) のデータを利活用した。これ COVID-19 罹患後の精神症状の病態解明及び最適な治療法の解明を目的として、COVID-19 罹患者の生体情報や精神症状の評価項目を含む医療データを縦断的に収集したものである。収集データは、第 1 層情報 (人口統計学的情報、各種症状の有無)、第 2 層情報 (うつ、不安、睡眠、認知機能、QOL、生活満足度を自己記入式項目の電子的収集および身体・神経機能の医師による評価)、第 3 層情報 (生体試料 (血漿、末梢血単核細胞、DNA) 及

び脳神経画像の解析) から構成された。10 か月間にわたる縦断調査では、患者の主観だけでなく、医師による身体・精神評価、血液検査、脳画像検査と言った他覚的評価も実施した。

C.研究結果

本研究は、既出の PSCORE-J 研究を参考に、精神医学的・疫学的助言を行った。

福田分担班における医療レセプトデータおよび HER-SYS データを用いた記述疫学研究では、COVID-19 に罹患し、その後 2 か月以上にわたり精神症状の治療を受けた患者において、抑うつ、不安、不眠、統合失調症、神経症性障害などの診断が確認された。薬物治療を受けたのは 111 例 (54.1%) であり、治療薬として、抗精神病薬 (N05A)、抗不安薬 (N05B)、催眠鎮静薬 (N05C)、抗うつ薬 (N06A)、抗認知症薬 (N06D) などが使用されていた。導入時期や継続期間には大きな個人差がみられたが、治療は 7 割が病院で開始されていた (結果の詳細は福田分担班を参照)。

さらに、既出の「PSCORE-J : Psychiatric Symptoms for COVID-19 Registry Japan」研究班と連携し、我が国における COVID-19 罹患に起因すると考えられる精神症状や精神疾患に関しての意見交換を行った。本レジストリのデータを利活用した中間解析 (2024 年 12 月 31 日時点) 944 例の結果からは、新型コロナウイルス感染罹患後の精神症状として、PHQ-9 による抑うつ症状 (重度 15%、中等度 40%、軽度 26%、軽度未満 19%)、GAD-7 による不安症状 (重度 7%、中等度 26%、軽度 38%、軽度未満 29%)、ISI による不眠症状 (重度 4%、中等度 27%、軽度 46%、軽度未満 23%) と 7 割以上で精神症状を有することが示された。これらの結果は、福田分担班における医療レセプトデータおよび HER-SYS データを用いたデータと直接比較することは難しいものの、COVID-19 罹患後に多様な精神症状が持続的に出現するという点で、両者の所見は相補的な関係にあると考

えられる。

D. 考察

「COVID-19 感染後の精神症状を有する患者レジストリ」の中間解析により、新型コロナウイルス感染罹患後には高い割合にて精神症状を有することが示された。今後の研究では、「PSCORE-J」の結果も参考に、精神症状の種類や程度、感染の重症度や経過などについて、ワクチン接種状況別に調査し、感染症対策や精神症状への対応策の改善に資する解析を行うことが重要である。

このように、新型コロナウイルス感染罹患後の精神症状の発現率に関するレセプトデータ解析や、本レジストリの情報の利活用研究によって、COVID-19 感染後の精神症状の実態が明らかになりつつある。また、その成果を用いることにより、精神症状の改善に影響を与える因子を推定し、新たな治療法の開発に繋がることが期待される。

E. 結論

本研究は、日本において初めて、HER-SYS と医療レセプトデータをリンケージし、COVID-19 罹患後の精神症状の発現状況を明らかにした研究である。既出の研究を参照し、COVID-19 と精神症状との関連性について、より深い理解が得られた。最終的には、今後の COVID-19 の罹患者に出現した精神症状に対して支援に結びつけるためのガイドライン作成に資することが期待される。

F. 健康危険情報

該当なし

G. 研究発表

1. 論文発表

・ Sugita S, Hata K, Kodaiarasu K, Takamatsu N, Kimura K, Miller C, Gonzalez L, Umemoto I, Murayama K, Nakao T, Kito S, Ito M, Kuga H. Psychological treatments for mental health symptoms associated with COVID-19 infection: A scoping review. *Psychiatry and Clinical Neurosciences Reports*, 1;3(3):e223. doi: 10.1002/pcn5.223. eCollection 2024 Sep.

・ 高松直岐, 中尾智博, 大曲貴夫, 高尾昌樹, 神庭重信, 久我弘典. コロナ後遺症の現状と今後の展望. 脳とこころの最前線. 認知療法研究 17 (1), 2024

・ COVID-19 罹患後の精神神経症状—最新の研究動向と今後の展望—. 高松 直岐, 木村 大樹, 杉田 創, 伊藤 正哉, 尾崎 紀夫, 中尾 智博, 久我 弘典. 精神経誌. 127 (2): 74-88, 2025

2. 学会発表

・ 高松直岐, 千葉博之, 梅本育恵, 野網恵, 近藤真前, 鬼頭伸輔, 久我弘典. COVID-19 感染後のメンタルヘルス：固定効果モデルによる希死念慮の経時的変遷. 第 120 回日本精神神経学会学術総会, 札幌, 6.20-22, 2024.

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

該当なし

2 実用新案登録

該当なし

3. その他

該当なし